

町内会広報

発行：玉川学園町内会 会長 服部知行

☎ 042-725-0438

✉ t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

🌐 https://tamagawagakuen-chonikai.net



玉川学園町内会

🔍 検索

—特集— 2022年定期総会

本年度の玉川学園町内会の定期総会はコロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、昨年同様に、一堂に会しての総会を取りやめて、「書面表決」での議決とし、後日改めて「書面表決の結果報告会」を開催しました。

書面総会までの経緯と投票結果

昨年よりコロナ感染が拡大する中、残念ではありますが、本年度も書面による総会として、ホームページ及び掲示板でお知らせしました。4月14日(木)に書面総会資料を各支部長経由で各戸回覧をお願いし4月28日(木)に書面表決書を回収しました。5月16日(月)に全ての集計が終了し以下の通りの結果となり全議案が承認されました。

開票結果

会員総数:3,761名 / 投票総数:3,118票 / 投票率:82.9%

議案

【内容】

	賛成	反対	棄権・無効
第1号議案 2021年度事業報告	3,080	5	33
第2号議案 2021年度決算・会計報告	3,077	5	36
第3号議案 2022年度事業計画「方針と活動の進め方」	3,078	5	35
第4号議案 2022年度各部及び各地区の事業計画	3,082	2	34
第5号議案 2022年度予算	3,078	4	36
第6号議案 会則・細則の一部改訂	3,078	3	37
第7号議案 2022年度役員・会計監査の選出		信任 不信任	棄権・無効
・会長・副会長候補	3,072	5	41
・全区選出幹事候補	3,077	1	40
・会計監査候補	3,076	1	41

報告事項

○2021年度事業報告

総務部は、書面による定期総会の取りまとめ、年間を通じて各定期会議の各部議題の取りまとめ。経理部は、予算の実施状況の把握と幹事会での定期報告。来期予算策定の取りまとめ。広報部は、「町内会だより」の隔月発行、広報「町内会広報132号」の発行、町内会各種事業に対する広報活動、ホームページの運営管理。防犯防災部は、東京消防庁より防火防犯功労賞(最優秀賞)を受賞、防犯・環境パトロール、各地区での防災訓練実施、街路灯の点検、街頭消火器の点検、防犯カメラ管理、わんわんパトロール事業の推進、こころ児童館・幼稚園・保育園の合同防災訓練を支援。環境部は、善意の傘、憩いの椅子の維持管理、資源物集積所の管理、資源回収事業の実施、建築協約の業者との窓口。コミュニティ部は、コロナ禍であったが、感染対策を施し、コミュニティ部として新たな活動を開始。クリスマス子どもの集い、街の小さな音楽祭、ウォーキングの実施、きんじょの本棚を町内会事務所前に設置、玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会主催の星空映画館の応援、玉川学園商店会の各種イベント(ハロウィン・スタンプラリー・クリスマス他)に参加しました。

○決算報告・会計監査報告

決算報告書は白岩敬信様と石田嗣子様の会計監査により預金通帳・諸帳簿ならびに諸伝票の詳細な監査が実施され収支及び財産管理について、正確かつ妥当であることが認められました。

決議事項

○2022年度事業計画

事業計画と「方針と活動の進め方」は町内会活動の基本を定めたものです。以下の別枠に記載しております。

○2022年度各部及び地区の事業計画、および一般会計・特別会計予算

各部(総務部、経理部、広報部、防犯防災部、環境部、コミュニティ部)からそれぞれの事業計画及び一般会計予算、特別会計予算が提議され承認されました。各地区においてはコロナ禍の状況を注視しながら可能な限り地区活性化の事業を実施して参ります。特に一昨年度発足したコミュニティ部は各地区のコミュニティの醸成に向けて活性化事業を推進して参ります。

○会則・細則の一部改訂について

現在の会則の一部を下記の通り改訂しました。

1. 第4条1項(4)に「地区長会」を追加
2. 第7条副会長4名を4名以内に変更
3. 第9条1項地区長を削除
4. 第13条に地区長会の構成を追加
5. 第14条「地区会の構成、目的、運営」を「地区および支部の構成」に変更
6. 第14条1項「地区会は運営上地区制をとり、地区長をおく」を「本会は運営上地区制をとり、各地区には更に支部を設ける、各地区に地区長、各支部に支部長を置く」に変更
7. 第14条2項「…および自主防災隊等とする。」に変更
8. 第15条地区長の任務、任期、選出の内、任期を削除
9. 第15条2項「地区長の任期は2年とし、再任を妨げない」を削除
10. 第16条1項「本会は、運営上支部制をとり、各支部に支部長を置く」を削除
11. 第20条5項に「地区長会 会長は必要に応じて地区長会を招集する」を追加

○2022年度会計監査の選出について

会計監査の改選にあたり、4月8日(金)選挙世話人代表、藤田イツ子様立ち合いの下で立候補者、推薦者を確認し、候補者を選出致しました。候補者については、書面総会で賛否を求め伊藤良雄様、古川常男様が選出されました。

書面表決の結果報告会

5月29日(日)町五小体育館にて、会員、町内会幹事約80名の出席のもと開催されました。会長の挨拶より始まり、新任幹事の紹介、書面表決書の結果報告、前年度決算及び会計監査報告、今期予算、今期の主な活動について説明を行い、その後会員の皆様よりの質疑応答を行いました。

主な質問に対する回答

- 予算に関する回答
一般会計は会員からの会費で成り立っているもので、会員の為に使用しております。特別会計は町内会が運用管理している資源回収の収益から成り立っており、非会員の方が出された資源も含まれますので、地域全体に関わるものに使用しております。又、書面総会の資料には、セキュリティの考慮から公開を見合わせた「非常用準備費」があることを口頭にて説明しました。
- 玉ちゃんバスのダイヤ改正に関する回答
大幅改正に至った説明と今後の動きの説明をしました。増便等の要望については、具体的な提案を頂き、実現可能であれば、委員会を立ち上げ、検討して行く予定です。

2022年度事業計画 方針と活動の進め方

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1) 防犯意識の高揚をはかり、防犯・環境パトロール隊の活動を推進し、安全・安心なまちづくりをめざします。
- (2) 防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりをめざします。
- (3) 「混ぜればこみ」「分ければ資源」廃棄物減量と資源物の活用に取り組み、循環型社会の推進をめざします。
- (4) 「広報」「町内会だより」および「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5) 関係諸団体とも連携して、子どもから高齢者まで広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6) 会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。
- (7) 玉川学園町内会(第一地区～第八地区)の地区別活動推進による地域の活性化と近隣の絆の強化を図ります。
- (8) 玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。
コミュニティバス(玉ちゃんバス)の運行に協力し、交通安全のモラル向上を目指して、啓発活動を展開します。
- (9) 玉川学園地区社会福祉協議会の運営を支援します。全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (10) 「こすもす会館」「さくらんぼホール」の運営について関係自治会と協働し、その中核として、両施設の円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり、地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (11) 町田市町内会・自治会連合会、玉川学園・南大谷地区協議会等の諸団体との情報交換を密にして、地域特有の課題に積極的に取り組んで住みやすい住宅地域としての発展をめざします。
- (12) 組織体制強化に備えて、「認可地縁団体」の取得に向け準備を進めます。
- (13) 会員数の増加を目指し、地域活性化事業を活用して、具体的な検討をします。



新年度にあたり



会長 服部知行

今年度の定期総会は3年連続で書面総会となりましたが、5月には報告会を開催し会員の皆様との意見交換をすることが出来ました。役員改選に伴い新しい人々と共に新たな気持ちでスタートを切りたいと考えています。新型コロナウイルス感染症の状況もまだまだ予断を許されませんが、うまく付き合いながら町内会活動を行っていきます。

町内会ではいくつかの大きな課題を抱えています。一つは、町内会役員のなり手不足です。これに対応するために会議の回数を減らしたり、開催日を土日に変更するなどの工夫をしています。また会議への出席が不要な「専門員」制度も導入しました。イベント等だけに参加する仕組みを考え、活動する事の楽しさなども発信して、町内会に係る人を増やして行きたいと考えています。

活動の課題としては、

- (1)大きな目標としている「地域コミュニティの向上」 (6)突き進む高齢化と少子化の進行に伴う「地域福祉」
(2)退会者が増えている「町内会への加入促進」 (7)懸案となっている「認可地縁団体への移行」
(3)近づく巨大地震に備える「地域防災」 (8)会員の皆様からお預かりしている「資金の使い方」
(4)地道に進めなければならない「環境問題」 (9)町田市が推進している「学校統合への対応」
(5)「玉ちゃんバス」も含めた「地域交通問題」 (10)節目となる「町内会発足60周年記念イベント」

などがあります。どれも簡単に解決する事や実行できる事ではありませんが、地域に数多くある諸団体とも協働して、会員の皆様のご意見やご要望を承りながら役員全員で少しでも前に進むことが出来るように力を注いで行きたいと考えております。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長の抱負

田代 敏行 ※総務部部長兼任

前期に続き今期も副会長の職を拝命致しました。過去二年間は副会長・兼総務部長として、町内会の基礎部分の整備に尽力して参りました。担当は総務部で町内会活動を行う上で重要な役割を果たす部門であります。

近年、玉川学園は著しい高齢化が進行しており、それに伴い諸々の問題が顕在化しております。地域コミュニティが希薄となってきており、高齢により町内会を退会する方も増えております。また空き家の増加が防犯防災上大変深刻な状況です。

過去二年間の活動で培ってきました経験を生かし、これら地域社会が抱える諸問題の解決に向けて取り組んで参ります。今期も副会長及び総務部長の二足の草鞋を履くことになりましたが、皆様のご支援を受けながら人にやさしく「安全・安心」で「この地域に住んで本当に良かった」と思える街づくりを目指して行きたいと思っております。

伊藤 宏 ※経理部部長兼任

今期は、ひょんなことから、副会長の役を務めることになりました第五地区の伊藤です。

実は、今期は、前期に引き続き、経理のみのお手伝いをと考えておりましたが、図らずも、副会長の役を仰せつかってしまいました。小生の器量には荷が重く、どこまでお手伝いできるか分かりませんが、年の功で、多少なりとも役立つのならばとお引受けした次第です。

町内会の長年の方針と活動のもとである「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」、「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、町内会員数の減少、高齢化に伴う役員の為り手の減少、情報伝達の充実、地区による活動の違い、等々の課題がありますが、役員の役目、仕事の内容の見直し等、できることからすこしずつでも解消し、楽しく集える町内会になるよう心掛けたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

古河 博 ※コミュニティ部部長兼任

今年度副会長を務めることになりました古河 博と申します。50年以上前、高校生の頃に家族で越してきて、長い間親しんできたこの玉川学園は私の大切な街です。

町内会では2018年度から4年間幹事を務め、最初の2年は文化部に所属し、2020年度にそれまでの文化部、青少年部、成人部、高齢者部の4部が統合されて新しく発足したコミュニティ部に所属してきました。今年度はコミュニティ部の部長兼任の形で、副会長を務めますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2020年度はコロナ禍のため殆ど活動が出来ずに終わりましたが、2021年度後半からは感染防止の工夫をしながら少しずつ活動出来るようになってきました。今年度は更なる活動出来るようになることを期待し、2年間出来ずにいた事にもあらためて取り組んで、玉川学園を住みよい街にしていくお手伝いが出来ればと思っています。

2022年度 役員・幹事

Table with 2 columns: Position and Name. Includes Chairman (服部知行), Vice Chairmen (田代敏行, 古河博, 伊藤宏), and Department Heads (田代敏行, 中田勝, 伊藤宏).

Table with 2 columns: Position and Name. Includes Publicity Dept (大賀容子, 西崎則江, 島倉正美, 小木曾雄介, 遠峰秀樹, 江副智恵子), Disaster Prevention Dept (島倉正美, 伊藤英一, 遠江義智, 平野友治, 本田忠良, 渡辺俊朗, 山田勝美).

Table with 2 columns: Position and Name. Includes Environment Dept (木村彰男, 渡辺哲也, 荒井由華子, 堀田和久, 平戸伸之, 豊島多江), Community Dept (古河博, 島田恵子, 川口昌男, 増田倫代, 寺沢重己, 浅沼晴美, 緒方朋子).

Table with 2 columns: Position and Name. Includes Sakura Hall (岩崎けい子, 島田万里子), Cosmos Club (澤村加奈子, 山岡かつ枝), Accounting (伊藤良雄, 古川常男), and Consultation (菊地隆男, 三宅俊剛).

※○の数字は地区の地区長

各部・部長、副部長の抱負

総務部 部長 田代 敏行

総務部は広く町内会活動を支援する部署であり、主な業務は、
 ・定期総会・常任幹事会・幹事会・支部長会・地区長会の運営管理やそれに伴う事務作業の支援
 ・募金活動・会員弔慰金・新入学児童並びに新生児への祝い金実施
 ・会員及び外部からの問い合わせ対応

など、多岐にわたっております。

<今期の主な活動>

- ※今期は、希薄となっております関連団体との連携を強化して参ります。
 - ※商店会との連携強化はもとより、消防団、学校法人等との連携を進めて参ります。
 - ※SNS他を活用した情報発信の強化を各部と協力して目指します。
 - ※「認可地縁団体」申請を目指し、町内会会則の大幅改訂を行います。
 - ※現役の女性、小さなお子様をお持ちの女性が町内会活動に参加し易い環境を整え、女性役員の拡大に努めます。
- 皆様のご支援を受けながら活気ある町内会を目指して行動して参ります。

広報部 部長 大賀 容子

広報部長として2期目になります。昨年度まで3名で活動しておりましたが、今年度から待望の新しい幹事さん3名が加わり、とても心強く思います。広報部全員で適材適所、役割分担をして、広報部のイメージアップを図るとともに、町内会の顔として、地域の絆づくりに役立つ情報発信の強化に取り組む所存です。

みなさんは、「玉川学園町内会」のホームページをご存知でしょうか。
 町内会だよりにQRコードを載せており、また「玉川学園町内会」でネット検索もできます。より早く情報を発信してまいりますので是非ご覧ください。今年度はこのホームページを見やすくするためリニューアルを予定しています。またSNSの活用についても議論していきます。
 今後も地域の皆様とのコミュニケーションを大切に活動していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

環境部 部長 木村 彰男・副部長 渡辺 哲也

「住みよく暮らしやすい環境をつくる」ことが、環境部の役割と考えています。
 「分ければ資源、混ぜればゴミ」と皆さんの協力で循環型の社会に貢献しています。その協力で、町内会は、リサイクル資源回収の特別指定団体に市から認定され「資源回収奨励金」を受取ります。報奨金は特別会計として計上し、非会員を含めた福祉や自主防災等の地域活動や支援に活用しています。
 住民の善意で始まった駅の「善意の傘」(置き傘)の管理当番、各地区で実施されている児童や高齢世帯へのさり気ない見守りをする防犯・環境パトロールの参加を各環境委員にお願いしています。
 玉川学園地域は文教地区であり、建築に係わる申合せ事項とまちづくり憲章を設定した協約があり、住環境に係わる住民への支援や事業者との協議などを行います。さくらの散歩道の再生など緑化活動による丘陵地の魅力と街並みの景観づくりを地域の皆さんと目指したいと考えています。

経理部 部長 伊藤 宏

前期(2020・2021年度)に引続き、経理を担当することになりました第五地区の伊藤です。
 皆様ご存じの通り、町内会の会計は、町内会費を基にする一般会計と、資源回収の収益を基にする特別会計(非常用準備費・資源回収収益金)があります。一般会計は、通常の運営・事業に関する会計で、特別会計は、通常の運営以外の経費に関する会計です。

今期は、一般会計・特別会計のバランス、又、収支のバランスを考慮しながら、会計のいっそうの健全化を目指してまいります。

近年は、会員数の減少による会費収入の減少や、資源回収収益金(回収量や換金単価も変動する)の変動のため予算が立てにくくなっていますが、町内会活動や、会員皆様が楽しんでいただける企画などは必要な予算の確保を考えております。
 どうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ部 部長 古河 博・副部長 島田 恵子

コミュニティ部は2020年度にコミュニティ形成が持続的に効率よく進むよう、従来の高齢者部、成人部、青少年部、文化部を統合して発足した新しい部です。発足したとたんコロナ禍が始まり思うような活動が出来ずにいましたが、昨年度は街の小さな音楽祭などいくつかのイベントを実行することが出来ました。また、町内会事務所の入口付近に気楽に本が借りられる「きんじょの本棚」の支店を開設しました。今年度も次のような活動を予定しています。玉川学園地区が活気あふれる楽しい街になり、コミュニティ形成がさらに進むよう努めてまいります。

- ①街の小さな音楽祭、クリスマスの集い、餅つき体験会、ウォーキングなどの実施
- ②青少年健全育成玉川学園地区委員会開催の秋の子どもまつりにブースを出店
- ③商店会の夏祭り、ハロウィン、クリスマスなどに町内会のブースを出店
- ④きんじょの本棚の支店開設、標高プレートの掲示などへの取り組み

防犯防災部 部長 島倉 正美・副部長 伊藤 英一

防犯・防災は、地域住民の主体的な取り組みや日頃からの備え、住民同士の協力があって成り立ちます。その原動力である防犯・防災意識高揚のため、今年度も様々な啓発活動を行います。

防犯では、町内会ホームページや町内会だより、防犯連絡会などを通じて犯罪の手法や対策を具体的に伝えていきます。

更に、犯罪や事故などの抑止効果が期待できる防犯・環境パトロールやわんわんパトロール、登下校時の見守り活動(見守り月間)などを皆様と共に実施してまいります。

この地域の防災は、地区自主防災隊が担っていますが当町内会も防災活動の一端を担っています。これまでも地区自主防災隊と共に在宅避難実現のために活動してきました。今年度も町内会ホームページや町内会だより、総合防災訓練、防災連絡会などを通して在宅避難に必要な対策や備えを中心に啓発活動を行います。

また、将来の防災の担い手を育成する事業(防災体験学習や自主防災隊班別研修など)も行います。

専任幹事の抱負

さくらんぼホール 専任幹事 岩崎 けい子・島田 万里子

さくらんぼホールは1993年、都営住宅建替に伴う跡地利用として玉川学園地区町内会・自治会連合会が都知事に対し「高齢化社会に対応しつつ、青少年育成や地域のふれあいの機会を拡大する施設が欲しい」と要望した中規模集会所施設です。
 2003年のオープンまでには都の財政難で計画は再三の凍結中断!諦めた矢先、「建設」の一報があり、その後、設計の打ち合わせなどが連日ありました。
 現在、ホールは大勢の方に利用していただき、玄関前には花いっぱいの花壇があり行き交う人の和みの空間になっています。一つ屋根で繋がった集会所施設と児童館そして子ども広場は『みんなで育てようコミュニティーゾーン』として異世代が集うコミュニティーの拠点です。
 前専任幹事の方のお力をお借りしながら二人で協力し、そして携わってくださる委員の方々、協力員の皆様と力を一つにして運営管理に努めてまいります。

こすもす会館 専任幹事 山岡 かつ枝・澤村 加奈子

こすもす会館は、木々に囲まれた静かな場所にあり、地域コミュニティの場として各部屋は教室やサークルの集まり、会合、また親睦を深めるためにも利用されています。玉川学園町内会と東玉川学園睦会の委員7名と協力員13名が役割分担し、受付業務、清掃、点検・整備、見回り等を行っています。利用者の皆様もルールを守り、お互いに気持ちよくご利用いただき、近隣の皆様へのご配慮をよろしくお願いいたします。
 今年度から会計担当の山岡です。会館利用者としてお手伝いできるならと軽い気持ちでお引き受けしましたが、「専任幹事」という役職名に緊張しています。
 事務長3年目の澤村です。やっと日常業務に慣れ、皆様と『コミュニケーションをとりながら、より良い会館運営に努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。』

町内会が関わる主な関連団体のご紹介

町田市町内会・自治会連合会(市連)

会長代行:服部知行
 町田市全域に10会ある町内会・自治会の連合組織の集合体で、町田市との協力を密にしながら市民生活を市政に反映することを目的としています。

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(玉南連)

会長:服部知行
 玉川学園地域と南大谷地域にある町内会と自治会の連合体で、広域地域の共通課題解決に取り組むための組織です。上記の市連からの情報を連絡・報告し相談する会議です。町田市に10会ある組織の一つです。

玉川学園・南大谷地区協議会

代表:服部知行
 玉川学園・南大谷地区の学校や福祉施設などの様々な団体や機関がネットワークを組み、地域特有の課題や共通の課題を共有し連携して解決に取り組むための組織です。

玉川学園コミュニティバス推進委員会

会長:服部知行 / 事務局:田代敏行
 地域の交通や玉ちゃんバスの運行などについて、近隣自治会などと共に、町田市・小田急バスと検討する会議です。

玉川学園地区社会福祉協議会(地区社協)

理事:古河 博
 町田市で最初に設立された、私たちの地域の身近な福祉活動に取り組む組織で、「地区社協」と玉川学園地区で親しまれています。

さくらんぼホール

副委員長:服部知行 / 幹事:西崎則江
 専任幹事:岩崎けい子 / 専任幹事:島田万里子
 小田急線北側地区の中規模集会所施設で、管理運営は町田市より委託を受けた『さくらんぼホール施設運営委員会』が行なっています。
 (玉川学園町内会 玉川学園第一住宅自治会 玉川学園興人自治会 玉川学園松風台自治会 桜ヶ丘自治会)

こすもす会館

委員長:服部知行、委員:伊藤英一
 専任幹事:澤村加奈子 / 専任幹事:山岡かつ枝
 小田急線南側地区の中規模集会所施設で、町内会が中心となって運営しています。
 (玉川学園町内会、東玉川学園睦会)

各地区・地区長の抱負

第一地区（緑ヶ丘A,B、玉園台、茜台、新茜台）

地区長 中田 勝

「町内会活動が負担にならない町内会を目指す」その為に

- ・自分の得意とする事を地域の中で活かせる町内会
得意技が町内会活動で役に立つなら町内会活動なんて重荷でも何でもない。どんな得意技があるのか、どんな力が求められているのかのマッチングです。
- ・住宅の資産価値を向上させる町内会
良い環境を作り上げて行く事は住民の力があって初めて可能です。資産価値向上と云う視点を意識して地域環境向上に取り組みましょう。
- ・トップダウンではなくボトムアップの活動が見える町内会
どんなトップダウンも初めは住民からの求めをかなえる事から始まっていたはず。初心に帰り、身の回りの不安・不満・不便の小さな事を解決してみましょう。自分のためなら自ずと力が出てきます。
- ・地域活動への入り口になる町内会
いろいろな地域活動が行われていますが、町内会というネットワークを活用して接触機会を増やして得意技のマッチングができればと思います。

第二地区（月見ヶ丘A,B、紅葉ヶ丘、桜ヶ丘A,B,C）

地区長 西崎 則江

第二地区に住んで37年、地域で自分のできることで少しでもお役に立てればと思い、あっという間に9年目の活動になりました。

この度、初めて地区長を務めさせていただきます。今まで広報部で活動していて現在も広報部のみなさんと町内会だより、ホームページの制作に関わり、主に情報発信をしながら日々学ばせていただいております。

今後は地区長として地域の皆様からの声を受け取る側に立って、どの様にしたら皆様が町内会と楽しく関わっていけるのかを考えていきます。

地区の方から、「班全員が85歳以上で、次にお役が回ってきても、できそうにもありません」とご心配され、電話を下さいました。同じ班が一様に高齢化してきていますので80歳以上の方には役員免除など、起きている問題に対応をしていき、またコミュニケーションが図れる場所作りにも力を入れていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

第三地区（朝日ヶ丘、新玉園台、学園台、南学園台、南ヶ丘）

地区長 島田 恵子

一昨年・昨年と地区長をしていましたが、今年度からまた二年、地区長をすることとなりました。

コロナのため、地区会・地区イベントなど、思うよう開催できませんでしたが、今年からは少しずつでも元のようにしていけたらと思っています。

今年の活動目標は以下の通りです。

- ・地区会をコロナ以前のように、地区役員の皆が参加する形にする
 - ・どんな形であれ、地区交流イベントを開催する
 - ・前年度、中止となった地区防災訓練を行う
 - ・地区の防災倉庫内の資源を生かした活動がなにか出来ないかを考える
- 安心・安全な町づくりには、人と人との関係作りが大切と思います。その為に出来ることを少しずつでもしていけたら、と思っています。大変未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。

第四地区（桜ヶ丘D、美鈴台、五小台、玉林台、新玉林台、静林台）

地区長 寺沢 重己

1962年7月、3歳の時にこの地(当時は「本町田」)に住み始めました。玉川学園町内会もこのころ結成されたとのことで、不思議なご縁を感じます。公園などの施設はなくとも、坂を下れば小川があり、ザリガニやオタマジャクシを捕りました。夏の夜は蛍を見たこともありました。町五小の北側は傾斜地で、天然の滑り台でした。幼少のころからの顔見知りや年々減ってきていますが、新しい出会いも重ねてきました。

数年前に支部役員として地域防災に関わり始め、特に第四地区の課題がわかりました。地区長として、6支部の役員の方々と協力して、これまで通りの平和で安心・安全な、コミュニケーション豊かな地区運営を心がけます。よろしくお願いいたします。

第五地区（池の台、松風台A,B、雲雀ヶ丘A,B、夕日ヶ丘A,B）

地区長 遠峰 秀樹

この玉川学園の地に住み始めてから28年経ち、その間、米国に住んだ17年を除くと都合11年この地にお世話になっております。

今年度から町内会の方々の活動を町内会役員の一員として間近に接し、実に多くの方が真摯に活動に向き合っておられることを知り敬服しております。常員もその一員になったことで、どのようなお役に立てるかを考えながら活動に参加しております。

私の役割は、地域の方々のご意見を拝聴しPowerにして、町内会を通して地域の方々により良い日々の生活を送っていただくようにすることだと思っております。それには、まず住民の方お一人お一人からのご意見をお聞きする耳を持つことだと思っております。それについて具体的方法も考えております。精一杯努力いたしますのでご協力よろしくお願いいたします。

第六地区（つつじヶ丘、東急台）

地区長 本田 忠良

本年度より第六地区長を務めさせていただきます。

移住してまだ日が浅く、まだまだ未熟な点が多々あると思いますが、より良い町づくりに少しでもお役に立てればと思い、お引き受けいたしました。

今のところ私から具体的なより良い町づくりの案はありませんが。まだまだ見たり聞いたりして勉強中といったところです。町内会の役員の方々の活動は本当に素晴らしいと毎年感じていました。そんな思いから、まずは役員の方々のサポートをすることが、今できる一番の仕事と思っております。道路や公園のポイ捨て、通学路の安全など、気になることは色々ありますが、今は現状を肌で感じて眼でよく見て、みなさまのお役に立てるように取り組んでいきたいと思っています。

第七地区（鶯谷、旭ヶ丘東A,B、旭ヶ丘西、星ヶ丘A、向陽台B）

地区長 江副 智恵子

今年度の第七地区の活動は、防災活動が軸となっています。自主防災隊長が昨年度から温めていた案を基に年間計画を立てたところ、1年間の活動が埋まりました。親交を深めるための飲食の場も企画したかったのですが、コロナ感染症の見通しが立たないため断念しました。

地区長の任期は2年です。2年でどなたかに交代します。その前半である今年度は、イベントの参加者数や委員の協力態勢などの実態から第七地区の活動の内情を把握し、来年度の計画に活かしたいと考えています。

そして今年度に限らず、支部長・防災委員・環境委員の皆さんが委員を離れた後、時間の許せる範囲で「防犯・環境パトロール」へ参加していただければなによりです。

毎年の委員の活動が「町内会活動という義務」で終わらず、ゆるく長く続く「ご近所づきあい」のきっかけになることを望んでいます。

第八地区（星ヶ丘B、向陽台A、松見ヶ丘A1,A2,B1,B2,C、化石谷）

地区長 伊藤 英一

先期に引き続き地区長をお引き受けすることになりました。先期はコロナ禍により、思うような活動ができませんでしたが、今期は従来の活動にもどすべく、支部役員及び地区内会員と協力して下記の地区の課題解決に向けて諸活動を進めていく予定です。

当地区の課題として、一部の地域のゴミ不法投棄、小動物の生ごみあさり、空き地や空き家の雑草や日常生活などで起こる問題、コロナ禍による玉ちゃんバス南ルート減便、町内会員減少、役員高齢化等があります。

また、減災についてですが、1923年9月1日の関東大震災からあと1年ちょっとで100年の節目ですが、当玉川学園は、1929年4月に玉川学園が創設され丘陵地帯が宅地化されてきたと聞いており、関東大震災時には丘陵地帯がどのような状況になっていたかは、市史に記載はありますが詳細はわかりません。今期は震災対策として、個々会員の対策と会員相互の連携の具体化と周知をしていきたいと考えています。

編集後記

今年度は役員改選の年にあたり、新しい幹事の方々も多く入られました。コロナ禍で活動には制約はありますが、町内会活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

広報部

ご質問、ご感想等ございましたら、お名前をご記入の上、町内会事務所までお寄せください。尚、お電話にての対応はお受けいたしかねます。

玉川学園町内会「広報部」宛
〒194-0041 町田市玉川学園 2-19-5

FAX **042-725-0438**
メールアドレス **t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp**
ホームページ 「玉川学園町内会」で検索

